

## 第40回 都筑区民大会 Aリーグ 大会要項

---

- 期間 (1) 9月14日(日)～11月16日(日)の土・日・祝
- 大会運営 (1) トーナメント戦を行う。  
(2) 三位決定戦を行う。
- 表彰 (1) 優勝、準優勝、三位のチームに賞状、賞品を授与する。

## 第40回 都筑区民大会 Bリーグ 大会要項

---

- 期間 (1) 9月14日(日)～11月16日(日)の土・日・祝
- 大会運営 (1) リーグ戦を行い、各ブロックの上位チームにチームにより決勝トーナメント戦を行います。
- 表彰 (1) 優勝、準優勝、三位のチームに賞状、賞品を授与します。
- その他 (1) 以下の基準で順位を決め決勝トーナメント進出チームを決める。  
(2) 決勝トーナメント進出の順位の設定は全ての対戦の終了をもって行う。  
各ブロックで以下の順位付けで上位2チームを決定し決勝トーナメント進出チームとする。
- 順位 ① 勝ち点制とする。勝ち3点 引分けは1点。  
② 勝ち点の多いチームから決勝トーナメントに進む  
③ 勝ち点と同じ場合  
1. 当該チームの勝敗、2. 失点が少ない、3. 得点が多いチームを上位とする。  
それでも同じ場合は抽選とする。
- (3) 全ブロックで以下の順位付けで2チームを決定し決勝トーナメント進出チームとする。
- 順位 ① 勝率の高いチームから2チームが決勝トーナメントに進む。  
② 勝率と同じ場合  
1. 当該チームの勝敗、2. 失点が少ない、3. 得点が多いチームを上位とする。  
それでも同じ場合は抽選とする。

## 第40回 都筑区民大会 ティーボールリーグ 大会要項

---

- 期間 (1) 9月14日(日)～11月3日(祝)の土・日・祝
- 大会運営 (1) リーグ戦を行い、および全チームでトーナメント戦を行います。
- 試合日程 (1) 10月26日(日)までにリーグ戦を終えてください。  
(2) 上記に定められた日までにリーグ戦を終えるよう各チームの協力をお願いします。  
(3) 11月3日(祝) おちあい公園にてトーナメント戦を行います。
- 試合会場 (1) リーグ戦は、各チームのグラウンドを主として試合を行います。  
(2) 参加チームはグラウンド提供に協力をお願いします。
- ブロック長 (1) 各ブロックにブロック長を置きます。  
(2) ブロック長はブロック戦の進行を管理をお願いします。
- 審判 (1) 前後に試合するチームで相互に、または出し合いをお願いします。
- 表彰 (1) 優勝、準優勝のチームに賞状、賞品を三位のチームに賞状を授与する。

## 都筑区少年野球連盟大会規定(1/2)

### 1 大会適用規定

最新版の公認野球規則、(財)全日本軟式野球連盟の競技者必携及び大会特別規則を適用する。

### 2 打順表の提出と攻守の決定

- (1) 試合開始時刻の30分前または前の試合の5回終了前までに、登録原簿の選手全てを記載した連盟指定の打順表3通(控え選手を含む全ての名に必ずふりがなを付すること)を本部に提出して、登録原簿との照合を受けた後に、球審立ち会いのもとに攻守を決定する。  
監督が不在の時は、コーチ29又は28が代理監督として大会本部に報告する。
- (2) 登録参加者申込書提出後は、選手の変更、追加および背番号の変更は原則、認められない。
- (3) 試合中ベンチに入れる人員を次の通りとする。  
代表者1名、監督1名、コーチ2名以内、スコアラー1名、マネージャ1名、選手10名以上20名以内(選手は13名以上が望ましい)
- (4) 遅れるか、10名人数が揃わないか、その他の理由で試合開始時刻になっても試合の出来る状態をとれないチームは、原則として棄権とみなす。  
(注)前の試合が早目に終了した時、次の試合開始予定時刻前でも、試合を開始することがある。
- (5) ベンチは、抽選番号の若いチームを一塁側とする。

### 3 大会試合ルール&特別規則

- (1) 試合は7回戦とする。ただし、試合開始後1時間30分を経過した場合は正式試合となり、新しいイニングに入らない。トーナメント試合での同点の場合は特別延長戦を行う。
- (2) 試合が7回を終了して同点時に、試合開始後1時間30分を経過していない時は、そのまま次のイニングに入ることとする。
- (3) 特別延長戦  
延長戦に入る前の打順表で1番が三塁走者、2番が二塁走者、3番が一塁走者、4番を打者として1死満塁の状態にして行う。次のイニングの場合は前回の最終打者を一塁走者として、二塁、三塁の走者は順次前の打者として1死満塁で行う。
- (4) 特別延長戦2イニング後も同点の場合は抽選により勝敗を決定する。
- (5) 降雨その他の理由による正式試合(コールドゲーム)となる回数は4回とする。
- (6) 得点差によるコールドゲームは3回以降10点差、5回以降7点差とする。
- (7) 特別継続試合  
試合が1回以降4回以前に中止になった場合(ノーゲーム)、または4回を過ぎ正式試合となって同点の場合(タイゲーム)は再試合とする。
- (8) 塁間は23.00m、投手と本塁間は16.00mとする。
- (9) 監督(監督代行)に限り、グラウンドに出て指示などをすることが出来る。
- (10) 抗議できる者は、監督(監督代行)と当該プレイヤーとする。
- (11) 公認野球規則3・03「原注」の前段は採用しない。したがって、投手の守備位置の交代は自由である。公認野球規則8・02(a)投手の禁止事項の内「ボールに異物をつけること」「どんな方法でもボールに傷をつけること」だけを採用する。

### 4 用具・装具

- (1) 用具
  - (イ) 大会使用球は連盟公認のC号ボール(ケンコー)として試合前に各チーム2個用意する。  
準決勝以降は大会本部で用意する。
  - (ロ) ユニフォーム、アンダーシャツ等は同色、同形、同意匠の物を使用する。  
ストッキング、アンダーストッキングを着用し、エクストラパンツのユニフォームは使用を禁止する。
  - (ハ) 金属・ハイコン(複合)バットは、連盟公認(JSBB)のものに限る。  
球場内に素振り用パイプ・リングを持ち込まないこと。
- (2) 装具
  - (イ) ヘルメット
    - ① 打者・次打者、走者及びベースコーチは、両側にイヤーフラップ及び安全マーク(SG)のついた連盟公認(JSBB)のものを着用すること。

## 都筑区少年野球連盟大会規定(2/2)

- ②捕手は連盟公認(JSBB)安全マーク(SG)のついた捕手用ヘルメットを着用すること。
- (ロ)マスクは連盟公認(JSBB)のものを使用すること。
- (ハ)捕手はレガース・プロテクター・ファールカップを着用すること。  
ファールカップは攻守を決める際に、持参しチェックを受けること。
- (ニ)スパイクは金具のついたものは使用できない

### 5 試合のスピード化に関する事項

- (1) 攻守交代は駆け足で行うこと。ボールは投手板近くに置いて交代すること。  
第3アウトが成立したら、守備側の選手は素早くベンチを離れ、守備位置に向かうこと。  
特に、バッテリーは準備投球があるため率先してベンチから出ること。
- (2) 各回の先頭打者と次打者およびベースコーチはミーティングに参加せず直に所定の位置につくこと。
- (3) 捕手は、投球は受けたらその場から投手に返球すること。
- (4) 投手は捕手の返球を受けたら、直ちに投手板について投球姿勢をとること。
- (5) 打者は速やかに打者席に入って打撃姿勢をとること。
- (6) 次打者は、次打者席で低い姿勢で待機すること。投手も必ず実行すること。
- (7) 打者は、打者席内でサインを見ること。
- (8) 走者が負傷などで治療が長引く場合は、相手チームに伝え、試合に出ている9人の中から、臨時の代走を認めて試合を進行させる。代走は打順の前位の者とし、投手はのぞいてもよい。

### 6 その他

- (1) ファールボールは、一塁側のものは一塁ベンチ。三塁側のものは三塁側ベンチ、本塁後方のものは攻撃側で処理すること。
- (2) 試合に勝ったチームは、自主的にグラウンド整備を手伝うこと。
- (3) 球場関係者と無用なトラブルを起こさないよう関係者の指示に従い言動に注意すること。
- (4) 監督は主将会議決められた事項をチーム全員に徹底させること。
- (5) 球場内ではトスバッティングもフリーバッティングも禁止とする。
- (6) 試合開始、終了の挨拶時には代表者・監督・コーチ・スコアラー・マネージャも自軍ベンチ前に整列して併せて挨拶すること。

### 7 リーグ戦

- (1) 以下の基準で順位を決め決勝トーナメント進出チームを決める。
- (2) 順位の設定は全ての対戦の終了をもって行う。  
順位      ① 勝ち点制とする。勝ち3点 引分けは1点。  
             ② 勝ち点の多いチームから決勝トーナメントに進む  
             ③ 勝ち点と同じ場合  
                 1. 当該チームの勝敗、2. 失点が少ない、3. 得点が多いチームを上位とする。  
                 それでも同じ場合は抽選とする。
- (3) 試合は大会運営及び試合ルールに準じ、延長の場合は、規定時間内であれば延長戦を行うが、時間外であれば引分けとする。

### 8 2014年度野球規則改訂に伴う大会規定の改正について

- (1) 三塁への偽投は一塁への偽投と同様に禁止。
- (2) 監督またはコーチが投手のところへは1試合に三度以内にする。  
尚、延長戦(特別延長戦も含む)となった場合は2イングに一度行くことが出来る。
- (3) 攻撃側のタイムは1試合に三度以内とする。  
尚、延長戦(特別延長戦も含む)となった場合は2イングに一度とする。
- (4) 投手の投球制限については肘、肩の傷害防止を考慮し、一日7イングまでとする。  
但し、特別延長戦に限り2イングは認める。

## 都筑区少年野球連盟大会に関する注意事項

### 1 選手

- (1) グローブからの指出しを禁止する。
- (2) 投球練習(控え投手も含む)のとき、捕手はマスク・ヘルメット・プロテクター・レガース・ファールカップを着用すること。
- (3) 投手は手首へのサポーター、リストバンドの使用を禁止する。
- (4) 負傷により包帯等が必要なときは、球審及び本部の承認を得ること。
- (5) ベンチ前にグローブ、バット、ヘルメット等の用具を置かないこと。
- (6) 次の試合の投球練習は、5回以降又は試合終了予定30分前からとする。
- (7) バッテリーは一組として危険防止の為、指導者を1名配置すること。
- (8) 打者は投球練習中はネクストバッターボックスで待機すること。
- (9) 打者走者の一塁へのヘッドスライディングは禁止する。
- (10) サングラスの使用を禁止する。必要な選手・監督・コーチは大会本部の了解を得ること。

### 2 指導者

- (1) 監督、コーチ以外もチーム帽を着用し、スポーツの出来る服装とすること。  
半ズボン、スカート、革靴、サングラス等は認めない。タオル等首に掛けないこと。
- (2) グランド周辺での練習(ランニング等)を行う場合、周辺住民や他の競技の邪魔にならないよう充分配慮し、無用なトラブルを避けること。
- (3) 球場外でのバットの使用(選手も含む)を禁止する。
- (4) 監督、コーチのユニフォーム(ストッキング、アンダーストッキング、靴)は選手と同一、同スタイルとすること。
- (5) 指導者等は、試合中グラウンド外に出た場合は再入場を認めない。
- (6) 監督が不在の時は、代理監督(コーチ29又は28)が大会本部に報告する。
- (7) 選手に対して罵声を浴びせない。
- (8) 相手選手のプレーを惑わす言動は禁止する。

### 3 応援者

- (1) 野次など目に余る行為があったときは、当人に厳重注意すると共に当該チームの監督を退場させる場合もある。
- (2) ゴミは持ち帰ること。

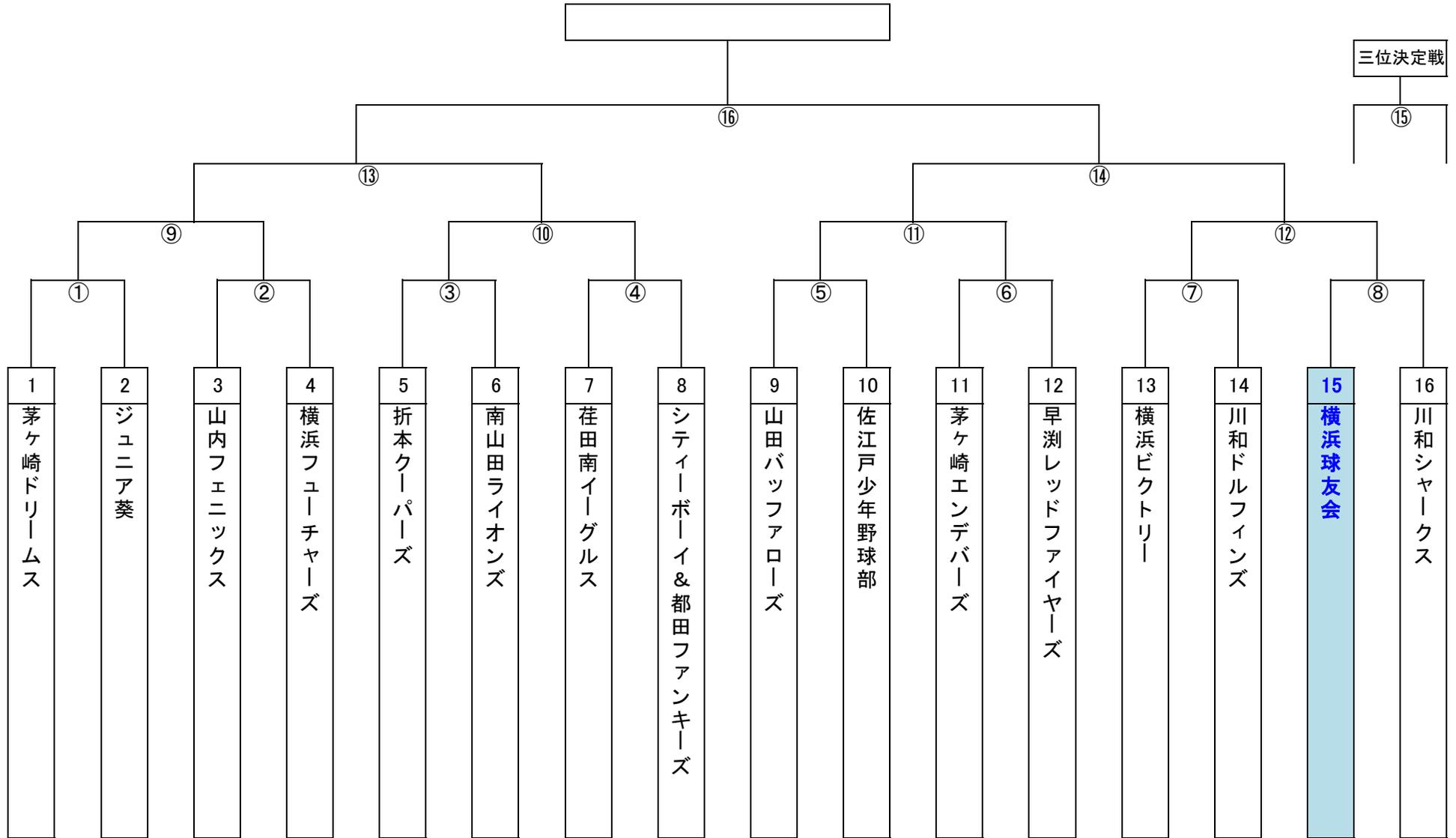
### 4 その他

- (1) シートノックは原則として午前中の第一試合のみ5分間行う。  
内・外野2か所でのノックを認める。内野手を超えてのノックは認めない。  
内・外野共に補助員はヘルメットを着用すること。  
(シートノックの時間が短いので指示に従い速やかに行うこと)
- (2) 試合前、練習時のノックを認める。  
(但し、2面試合会場は第一試合のみ認める)
- (3) 試合前、外野での素振りを認める。  
安全には十二分に配慮し必ず指導者の監視下にて行うこと。  
(選手はファールラインに添って十分間隔を空け、整列して行うこと)  
但し、大会本部の判断によっては禁止する場合がある。
- (4) メガホンの使用はチーム1個とする。

## 都筑区少年野球連盟大会 ティーボール規定

- 登録 (1) 複数登録チームの二重登録、入れ替えは禁止とする。  
(2) 背番号は0番より30番とし、主将10番、監督30番、コーチ、29番・28番とする。
- 用具 (1) 72cm以内の長さのバットを使用する。  
(2) 試合球はZETT製とする。  
(3) 高さ調整できるゴム製ティースタンドを使用する。  
(4) 捕手、打者、走者、ベースコーチはヘルメットを着用すること。
- 服装 (1) ユニホームの着用を原則とするが、運動できる服装での出場も認める。  
但し、背番号は付けること。
- グラウンド (1) 塁間は、18.33mとする。  
(2) 12.3mにピッチャーサークル(半径2m)を引く。  
(3) 本塁から4.5mにファールラインを引く。  
(4) 42mにホームラン・ラインを引く
- 試合ルール (1) 5回戦とする。(コールドなし)  
(2) 試合時間は30分(30分を超えて新しいイニングに入らない)  
(3) 3アウト、又は打者9人で攻守交代する。  
(4) 打者、守備要員は9人とする。(1度ベンチに下がった選手の再出場はできない。)  
(5) ファールラインの内側でボールが止まった時はファールとする。  
(6) ホームラン・ラインをノーバウンドで越えた場合はホームランとする。  
(7) ゴロ(野手に当たった場合も含む)でホームラン・ラインを越えた場合、テイク2とする。  
(8) (走者の進塁を阻止する意思なく)投手、又は野手がボールを持ってサークル内に入った時、或いは捕球、グラブ・身体の一部にボールがサークル内で触れた場合、ボールデッドとする。  
(9) ボールデッドの時点でランナーが次塁に達しない場合は前の塁に戻る。  
(10) 2ストライク後のファール、空振りはアウトとする。  
(11) 打者はフルスイングすること。バント、ハーフスイングはファールとする。  
(12) 打者の軸足(右打者の場合は右足)を移動させないこと。  
(守備を幻惑させる行為はしないこと。)  
(13) ボールの一部を打って4.5mラインを超えた場合はフェアとする。  
(14) ボールに当たらずティースタンドを打ってラインを超えた場合はファールとする。  
(15) 打者がボールを打つまでランナーは離塁できない。(タッチアップは認められる。)  
(16) 守備側の監督・コーチ(二名まで)はフィールド内(外野)での指導を認める。  
(17) 攻撃側の監督・コーチはコーチャーボックス内での指導を認める。  
(18) 打者の指導も可とする。但し、いずれの場合もインプレー中に選手に触れてはならない。  
(19) 危険防止対策が必要と審判が判断した場合はその指示に従うこと。
- 危険防止 (1) 打った後にバットを投げない指導を選手に徹底すること。  
(2) 原則として一塁はダブルベースを使用する。  
(3) ホームより2.5m後方の位置に左右の捕手ラインを引く。  
(4) 12.3mに半円を引き、野手はライン内で守備をさせない。  
(5) 決勝トーナメントではバット(72cm以内)は連盟で用意する。  
各チームは大会当日持参しないこと。  
(6) グラウンド、及び周辺での素振り、バットを使つてのノックは禁止する。
- その他 (1) その他の規定は「都筑区少年野球連盟大会規定」に準ずる。  
(2) その他運営に関して疑義が生じた場合は、大会の理念に基づいて判断する。

# 第40回 都筑区民大会 Aリーグトーナメント表



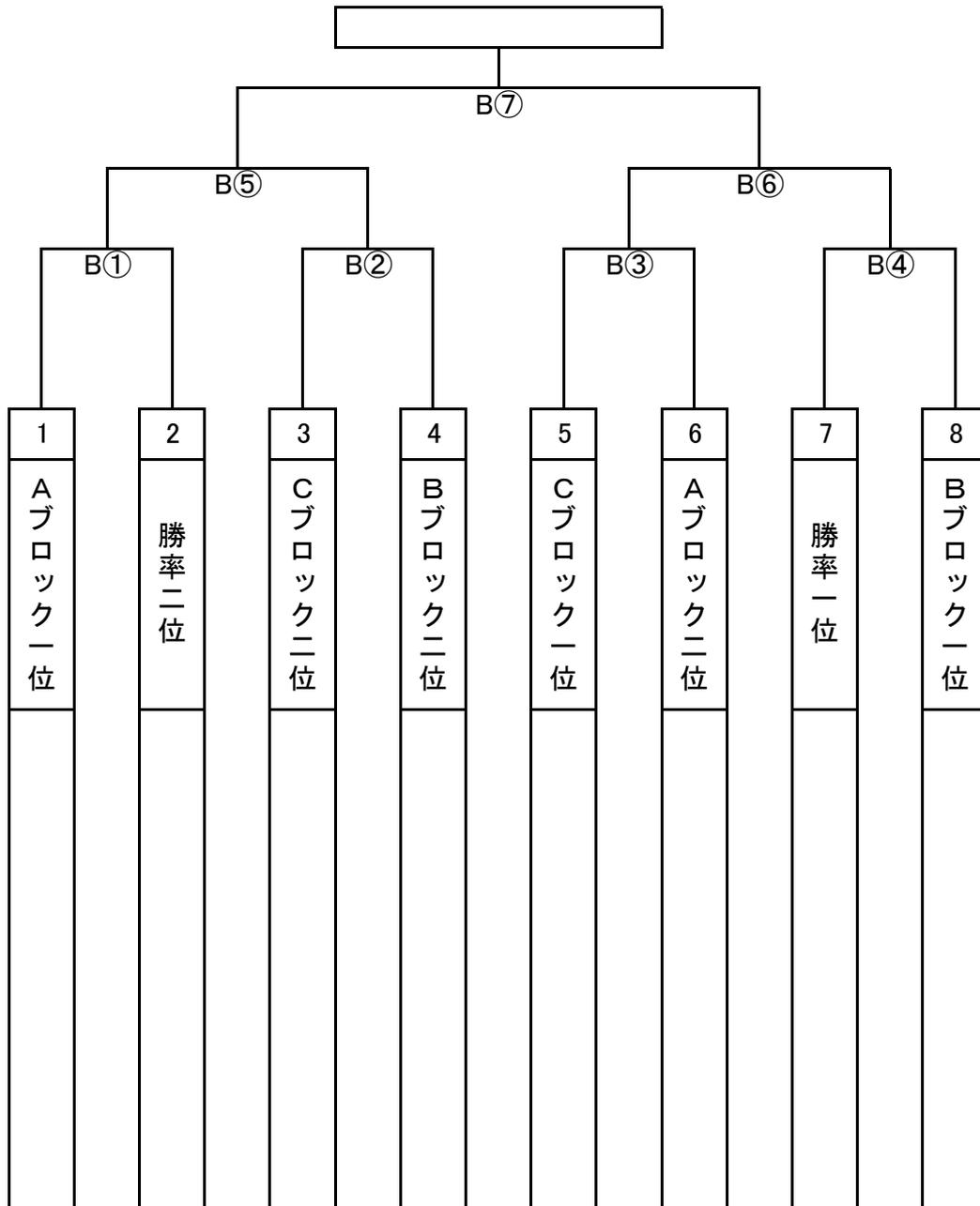
## 第40回 都筑区民大会 Bリーグ ブロック表

Aブロック						
チーム名						勝敗
1	横浜ビクトリー					勝 敗 分
2	佐江戸少年野球部					勝 敗 分
3	横浜フューチャーズ					勝 敗 分
4	早淵レッドファイヤーズ					勝 敗 分
5	ジュニア葵					勝 敗 分

Bブロック						
チーム名						勝敗
6	荏田南イーグルス					勝 敗 分
7	山内フェニックス					勝 敗 分
8	ニュータウン&都田F					勝 敗 分
9	横浜球友会					勝 敗 分

Cブロック						
チーム名						勝敗
10	山田バッファローズ					勝 敗 分
11	茅ヶ崎エンデバーズ					勝 敗 分
12	南山田ライオンズ					勝 敗 分
13	川和シャークス					勝 敗 分

第40回 都筑区民大会 Bリーグ 決勝トーナメント表



## 第40回 都筑区民大会 ティーボール ブロック表

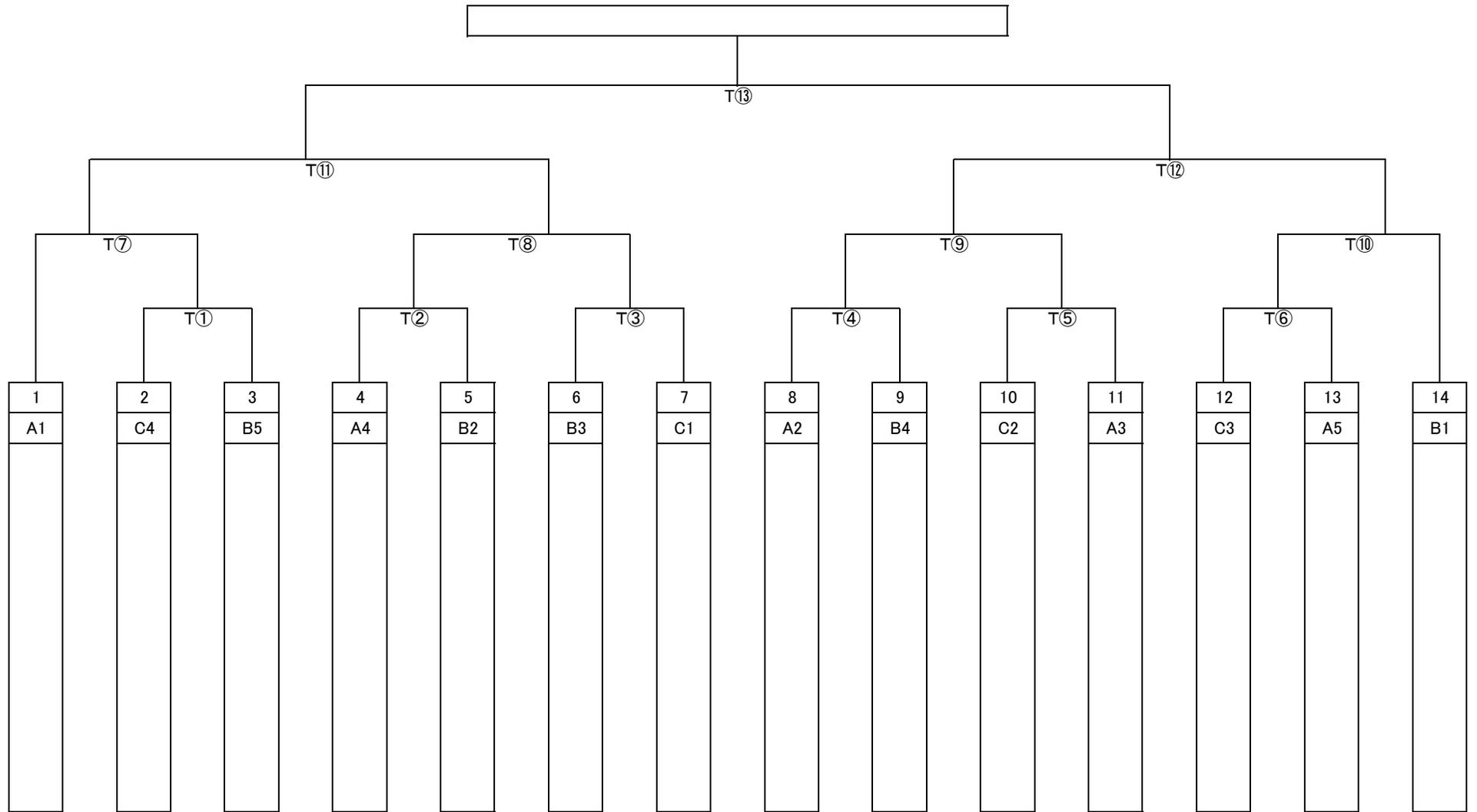
Aブロック						
チーム名						勝敗
① 佐江戸少年野球部						勝 敗 分
2 川和シャークス						勝 敗 分
3 横浜フューチャーズ						勝 敗 分
4 横浜球友会						勝 敗 分
5 荏田南イーグルスT1						勝 敗 分

Bブロック						
チーム名						勝敗
⑥ 茅ヶ崎ドリームス						勝 敗 分
7 佐江戸少年野球部T1						勝 敗 分
8 茅ヶ崎エンデバーズ						勝 敗 分
9 山田バッファローズ						勝 敗 分
10 南山田ライオンズ						勝 敗 分

Cブロック						
チーム名						勝敗
⑪ 荏田南イーグルスT2						勝 敗 分
12 横浜ビクトリー						勝 敗 分
13 早瀬レッドファイヤーズ						勝 敗 分
14 ジュニア葵						勝 敗 分

○ 印はブロック長

第40回 都筑区民大会 ティーボールリーグ 決勝トーナメント表



# 第40回都筑区民少年野球大会 創立20周年記念大会 開会式 式次第

会場：都田公園 B面

日時：9月14日(日)

□ 役員・審判部・各チーム一名 (07:45 集合)

□ 選手入場 (09:00～) 創立20周年記念横断幕、支部旗、連盟横断幕に続き  
第39回優勝チームを先頭に1チーム毎に入場  
※チーム名、監督名をアナウンスする  
※川和中学校ブラスバンド部による行進演奏

□ 開会宣言 (09:30～)

□ 優勝旗、優勝カップ返還 Aリーグ、Bリーグ

□ 新優勝カップ贈呈式 会長より理事長へ

□ 役員挨拶 会長、副会長、顧問、理事長

□ 来賓紹介 都筑警察署  
都筑区役所 地域振興課  
都筑区体育協会  
都筑区野球協会  
都筑区多目的広場管理委員会  
東京ガス横浜中央エネルギー株式会社 横浜北支社  
タウンニュース社

□ 来賓代表挨拶

□ 功労者表彰式 上林 勝弘  
五十嵐 照夫  
高野 己知男  
吉本 弘

□ 感謝状 東京ガス横浜中央エネルギー株式会社 横浜北支社

□ 審判長訓示 金子審判長

□ 選手宣誓 第39回都筑区民大会 優勝  
南山田ライオンズ 主将

□ 閉会の辞 (10:30 予定)

□ 選手退場